

劇団むさしの座第4回ラボ公演

蛇よ！

作：松尾スズキ

演出：広石一人

2007年7月1日(日) 14:00開演、19:00開演

武蔵村山市民会館小ホール 《入場無料》

開場は開演の30分前です。お早めに席にお着きください。



見延武子



澤野和子



森紀吏子



乙幡麻紀



丸田大介



疋田廣

今度の「むさしの座」は、ちょっとシニールな短編オムニバス！！

「刺したね」※ダブルキャスト(14:00 見延武子 or 19:00 乙幡麻紀 vs 疋田廣)

逃げた男を刺そうとした女は、何故か通りすがりの見知らぬ引きこもり男を刺してしまう。男は腹に包丁を刺したまま、女が落とした携帯から彼女の自宅に電話をかける。

「突起物の女」(澤野和子 vs 丸田大介)

心療内科を訪れた舞台女優。女は妙な格好で、妙なことを捲し立てている。やがて、女優の頭から“あるモノ”が突き出ていることが判明するが、それは、医師が封印していた過去の記憶と深く深く結びついていた。

「これからの人」(森紀吏子 vs 疋田廣)

女性の体内に注入された精子たち。他の精子が道半ばにして脱落していく状況下、ふたりの精子が自分たちの“これから”について語らう。

「初めてのSM」(見延武子 vs 丸田大介)

舞台は湿地帯に囲まれたラブホテル。会社の金を横領し、使い果たさんがために旅を続ける男がひとり。奪った金も残り4万円となり、男はSM嬢を呼ぶが、やって来た女王様は胸まである長靴を履いた泥まみれのおばちゃんだった。

～スタッフ～ 演出・音響：広石一人 舞台監督：内野辰美 照明：酒井浩伸

衣装：梶文子 大道具：武藤恭章 小道具：湯澤敏子 制作：広石康子

ラボ公演とは

ラボは、ラボラトリー(laboratory)の略で、実験室、研究室という意味があります。劇団「むさしの座」は、年に一度の秋の武蔵村山市民文化祭における公演をいわゆる本公演と位置づけ、春の公演は、自分たちの演技や芝居作りの研究・向上に重点を置き、秋の公演に比べ、自由な発想で、積極的に様々なジャンルの作品に取り組んでいます。

楽しくお芝居しませんか？

劇団「むさしの座」はいろいろな職業の人や学生達のアマチュア劇団です。会費は月に1000円という条件だけでどなたでも大歓迎！ お問い合わせは resetresetreset@hotmail.com (矢野)まで

劇団「むさしの座」オフィシャルWEBサイト <http://reset.noor.jp/za/>